

「阪谷の今を考える座談会」第3回 ご報告

開催日：令和4年7月15日（金） 午後7時～

場 所：阪谷公民館 2階 大広間

参加者：21名（※うち市交通住宅まちづくり課職員及び見学者9名）



テーマ：阪谷地区の公共交通について

- ・率直な感想や日頃思っていることを自由に言い合おう!!



【座談会の目的やルール】

[目的]

- 阪谷地区の今について、みんなで思っていることや考えていることを自由に話し合っ、そこから地域の問題解決のヒントになるようなことがないか、阪谷の望ましい将来像とはなどについて考えましょう。

（※みなさん、地域のいろいろな団体や会で役などをされているとは思いますが、ここでは、一個人として思いや考えを言っていただければと思います。）

[ルール]

- この会で結論をとることはしません。みなさんの意見は貴重なご意見として主催側で参考にさせていただきます。ですので、他者の意見に同調するのは大いにOKですが、否定することはやめましょう。

[その他]

- この会で出た意見は、貴重な意見として公開（氏名等は公開しません）することにご了承ください。

【座談会（第3回）で出た意見等】

【3テーブルに分かれて、テーブルごとで下記テーマ等について意見交換】

主なテーマ： ◆阪谷地区の公共交通について

- ・ JR越美北線
- ・ 乗合タクシー

第1テーブル

【JR越美北線】

●自分が利用したことはあるか？

- 旅行（京都や大阪など）で車を置いていきたい時に使ったことはあるが、最近是利用していない。
- 昔は通勤で利用したこともあるが、通勤先への乗り継ぎ等などの問題もあり、車で乗り合わせて通勤していた。
- 子どもの頃は中学生に定期券（柿ヶ島駅～富田駅）が配られていたので利用していた。

●家族や知り合い、近所で利用している人はいるか？

- あまり聞いたことはない。
- 同じ阪谷地区でも駅周辺の人はいいが、遠くの方は駅まで来る足がないから、車があれば車で移動するであろう。
- 通学については、少子化で子どもの数自体が大きく減っているのが利用者減少の大きな原因であろう。
- 遠距離でもセニアカーで移動している人をみかける。

●大野市の将来にとって越美北線は必要か？ その理由は？

- 自家用車の保有率や人口減少や少子化などのなか、通勤や通学などの日常的利用の需要が増えていくことは想像しがたいが、団体での旅行での使用や外から来られる観光の面などを考えると越美北線は必要。

●越美北線を残していく、活性化していくアイデアは？

- 高齢者の方は比較的余暇としての時間がある。高齢者の方をターゲットとした量販店やイベントみたいなものが大野駅周辺にあるとJRを利用して通うようになるのでは…

【乗合タクシー】

●自分が利用したことはあるか？

- ない。

●自分が現在必要性を感じているか？

- 現在はまだ自分で車を運転しているので必要はない。
- 高齢者の免許返納の流れについては、どうしても高齢者の事故が報道でも大きく流れるので目立つが、件数としてとびぬけて多いわけではなく、高齢者といっても運転の衰えなどは人それぞれ差がある。道路交通法的に高齢者の免許更新の内容も変わるし、運転免許があるうちは自分で運転したいと思う。

●家族や知り合い、近所で利用している人はいるか？

- 把握している限りではないが、区内では介護タクシーを利用している人は知っている。
- 蓑道や橋爪の停留所で待っている人を見かけたことがある。

●利用者の意見は？

- 特に聞いたことはないが、柿ヶ嶋では、停留所が集落センター1ヶ所だけになっているが、もう1ヶ所県道沿いになればというのを耳にしたことがある。
- やはり電話して予約というのがなかなか面倒というか難しいという高齢者の方もおられるのではないか。

●周りで移動に困っている人はいるか？

- 具体的には把握していない。
- 介護タクシーを利用している人は金額的にはかなり負担になっているように思う。
- 昔は近所で困っている人がいれば、「ちょっと乗せていってあげよう」といった共助が行われていた。バス停で待っていたら知り合いから声をかけられて乗せてもらったこともあった。しかしながら、現在は、時代的に事故など何かあったらすぐに責任問題といったようなことが前面にきてそういったことができなくなっている。それこそ結の精神ではないかと思うが、考え方としてそういった教育が浸透しないと難しいであろう。
- 基本はまず家族の中で対応すべきであるが、高齢者だけの世帯や一人暮らしなどそれができない方に対しては、地域の中で受け持つ人を決めるなど共助していく仕組みや制度をつくる必要があると思う。

●現在必要としていない人は、将来についてどう考えているか？

- 運転できなくなった後の不安を感じる。

●将来、自動車を運転できなくなった場合、現在の制度の乗合タクシーを利用したいか？

- 利用したいので、制度は継続してほしい。

●乗合タクシーのほかに自分が利用したいと思う移動手段などのアイデアはあるか？

- 共助については、詳しくは知らないが、最近、永平寺町で、地域で共助バスを走らせているという記事を見た。

- 停留所や駅までを共助で連れていくというのもありかと思う。
- 現在も生協などの移動販売車が来ているが、移動販売や訪問診療など、出かけるのではなくサービスの方が来てもらうというのも発想の転換の一つである。

第2テーブル

【JR越美北線】

●自分が利用したことはあるか？

- 最近、公民館の事業で利用したが、ほかでは利用していない。
- 免許を取得して以来、利用していない。

●家族や知り合い、近所で利用している人はいるか？

- 近所の人も同様に利用していないように思う。

●大野市の将来にとって越美北線は必要か？ その理由は？

- 越美北線は必要。やっぱり残してほしいが、そのためには利用されないといけない。

●越美北線を残していく、活性化していくアイデアは？

- 下唯野駅が利用しやすい場所にあるが、駐車場が無いのが不便。結局、越前大野駅に行くことになる。下唯野駅に駐車場があるとよいのではないか。
- 越美北線のダイヤが減るから、乗る人も減るという循環になっているかもしれない。1時間に1本など便数が増えると利用者も増えるのではないか。

【乗合タクシー】

●自分が利用したことはあるか？

- 利用していない。

●自分が現在必要性を感じているか？

- 車を運転できる間は利用することはないように思う。

●家族や知り合い、近所で利用している人はいるか？

- 以前は母が利用していたが、今は車で送ってほしいと頼まれる。高齢になり、停留所が指定される乗合タクシーではどうしても歩く必要が出てくるため、敬遠するようになった。買い物した際など荷物を持って歩くのがしんどいのだろう。

●利用者の意見は？

- 近所でタクシーを利用されている方はいるが、タクシー代も2,000～3,000円ぐらいかかるので費用はかかる。

●周りで移動に困っている人はいないか？

- 近所に一人暮らしの高齢者の方がいるが、自ら車を運転できている人が多く、移動に困り、引き籠っているような人はいない。
- 高校生の孫の送り迎えが大変だったりする。

●現在必要としていない人は、将来についてどう考えているか？

- 車を運転できなくなったら不安。阪谷では車が無いと生活できない。
- (移動を) 誰も頼む相手がいないときは乗合タクシーを利用するかもしれないが、まずは家族に頼む。
- 家族に移動を頼むのも気が引ける。何回も頼むのは申し訳ない気がする。

●将来、自動車を運転できなくなった場合、現在の制度の乗合タクシーを利用したいか？

- 思わない。(3人中2人)

●乗合タクシーのほかに自分が利用したいと思う移動手段などのアイデアはあるか？

- 一人当たり運行経費がかかっているのが驚いた。運転手のボランティアがいるとよい。
- (共助型交通に関する永平寺の事例を紹介したところ) 運転手のボランティアがいるとよいが、事故など何かあったときが心配。
- 買い物便(スーパー)や通院便(病院)など「目的」を設けたダイヤにしてはどうか。週1回みんなで買い物に行く便などは外出する機会にもつながるのではないか。
- 時刻表の時間の刻みが覚えていられない。30分間隔にするとか、わかりやすい時間にしてはどうか。
- 移動販売(ハーツ)は、蓑道は水曜日、六呂師は火曜日に来ている。地域の人も覚えていて利用している。

第3テーブル

【JR越美北線】

●自分が利用したことはあるか？

- 最近は全く利用していない。
- 10年くらい前、福井に車で行くのが怖くて利用したことがある。
- 役所関係の会合は越美北線で行っていた。
- 10年くらい前、妻の実家に里帰りするとき利用していた。

●家族や知り合い、近所で利用している人はいるか？

- いない。

●大野市の将来にとって越美北線は必要か？ その理由は？

- 免許を返納すると移動できなくなって、隔離されるような気持ちになる。そう考える

と、移動手段として必要である。

●越美北線を残していく、活性化していくアイデアは？

- 乗合タクシーと越美北線の接続を確保する。(越前大野駅、柿ヶ島駅)

●その他

- 阪谷地区から福井市へ通う高校生はえち鉄を利用していると聞くことが多い。阪谷からだと、越前大野駅に行くのも、勝山駅に行くのもそれほど変わらないので、本数の多いえち鉄で行ってしまう。

【乗合タクシー】

●自分が利用したことはあるか？

- 放課後子ども教室で、イベント的に活用している。(小学生と新鮮館おおの店へ買い物に行く。)
- サロンで活用したことがある。

●自分が現在必要性を感じているか？

- 車に乗れるため、必要性を感じていない。

●家族や知り合い、近所で利用している人はいるか？

- いない。

●利用者の意見は？

- 乗合タクシーだと、2カ所以上の場所を回ろうと思ってもできない。

●周りで移動に困っている人はいないか？

- いない。
- かつての利用者で、家族に頼むよりも乗合タクシーを呼んだ方が気が楽だと話していた方がいた。

●現在必要としていない人は、将来についてどう考えているか？

- 車が運転できる当面の間は利用しないと思う。

●将来、自動車を運転できなくなった場合、現在の制度の乗合タクシーを利用したいか？

- 利用したいと思うが、予約等、自分で利用できるか不安である。
- タクシーを呼んでもすぐ来ない。

●乗合タクシーの利便性向上のアイデア。

- 公民館で様々な行政サービスが受けられるようになる中で、公民館に停留所は絶対

に必要。

- みつわに停留所が欲しい。お年寄りの中には、あっ宝んどから大きな交差点を渡って行くのが怖いという人もいる（信号を時間内に渡りきれぬか不安）。
- JRとの接続を強化して欲しい。
- タクシーのように運行ダイヤを柔軟にして欲しい。
- 慣れていない人からすると、時刻表が見つらいので、工夫して欲しい。
- 1乗車で複数の目的地に寄れる仕組みにして欲しい。
- 将来への備えとして、何人かで利用するイベントをしてはどうか。

●その他乗合タクシーについての意見

- 友人と乗れば車内の会話は楽しいと思う。
- 普段車に乗っている人は乗合タクシーの存在を知らないと思う。
- 乗合タクシーなら昼から飲酒できる。乗合タクシーなら運転代行より安い。